

JOA Times 第5号（1982年1月）目次

国際オリンピック・アカデミー（IOA）第21次セッション（1981年）が開かれる
（p.1）

IOC第21次セッションに参加して 加藤 守（体協）（pp.1-2）

第21次IOAセッション参加国ならびに参加者一覧（pp.3-8）

オリンピックアカデミーに参加して 竹下 俊一（横浜国立大学大学院）（pp.9-10）

オリンピック事典—特集—（pp.11-12）

「オリンピック事典」の刊行にあたって 鈴木 良徳（JOC常任委員）・窪田 登（JOA会
長）（pp.12-13）

「オリンピック事典」の刊行に寄せて 清川 正二（IOC副会長）（pp.13-15）

事務局だより（pp.16-18）

昭和55年度事業報告・昭和56年度事業報告（4～11月）（p.19）

昭和55年度日本オリンピック・アカデミー決算報告（p.20）

JOA昭和56年度事業計画（p.21）

JOA昭和56年度予算（p.22）

役員紹介（S56年度～59年度）（p.23）

JOA TIMES

Japan Olympic Academy

国際オリンピック・アカデミー（IOA） 第21次セッション（1981年）が開かれる。

国際オリンピック・アカデミー（IOA）第21次セッションは、7月5日から7月20日までの（16日間）、ギリシャ国、オリンピア町とアテネ市で開催された。今年にはIOAの20周年記念式典と併せて大統領、サマランテIOA会長も出席され、54ヶ国211名の参加者があり、日本からは飯塚鉄雄（横浜国立大学教授）、加藤守（体協）、竹下俊一（横浜国大大学院生）、小川貴志子（日体大3年）の4名が参加した。特にJOAの副会長飯塚教授は講師として招かれ、講演の題は「オリンピズムを通じて日本の文化・文明が諸国民の相互理解にいかにか寄与してきたか」で1981年「みんなのスポーツ」11月号に内容が記載されている。

IOA第21次セッションに参加して

加藤 守（体協）

オリンピアの穏やかな碧空の下にいると恰もタイム・トンネルをぬけ時代を溯ってゆくような気がします。そのようなオリンピアで第21次セッションが開催されました。セッションの概要については、既に「体協時報 10月号」に報告をしておりますのでここでは、16日間の滞在で特に印象に残ったひとつを書いてみました。

今回の参加国・参加者は、サマランテIOC会長をはじめIOC委員・講師・ゴールドメダリスト等55ヶ国211名（明細は別記）でIOA20周年記念式典と併せ盛大に行われました。

これだけの国を異にする人々が、然も西欧圏・東欧圏、肌の色、或いは南北の別もなく例えば私